

ことばのテーブル 100枚プリント

解説

第10集 活用練習ワーク

ことばのテーブル100枚プリント第10集「活用練習ワーク」をお買い上げいただき、ありがとうございました。この教材は、動詞や形容詞の語形変化＝活用を学習する教材です。さまざまな活用を、声に出し、文字にすることを通して、日常会話における動詞・形容詞の運用能力を高めて行くための教材です。



【構成】※「問題リスト」参照のこと。

- 問題は、Ⅰ えをみてことばをかえてみよう Ⅱ いろんなことばにかえてみよう Ⅲ へんかん れんしゅう の3種類です。
- Ⅰ えをみてことばをかえてみよう は、比較的、平易と思われる活用から、難度が高いと思われるものへと、配置しました。＊難度については、以下の要素から学習順序(問題の配列)を検討しました。

A 活用習得時期の先行研究 例:否定「ナイ形」、要求「タイ形」、「テ形」、過去「タ形」などが比較的早期に出現等
＊岩立(1981)らの研究や、第2言語習得における調査等を参考としましたが、活用全体を調査したものはまだなく、配置は暫定的なものです。

B 意志伝達としての重要度 否定「ナイ」・要求「タイ」、過去「タ」(経験の叙述)、「～テ」形等は、とくに重要と考えました。

【使い方】※「使用例」参照のこと。

Ⅰ えをみてことばをかえてみよう ☆動詞・形容詞の活用を、19のテーマ(場面)にわけて学習します。

たべる…
たべたい…



2枚1組の絵を、対比して見ながら、それぞれの状況を、動詞＋活用語尾(*学校文法における助動詞)の形で表現します。動詞の終了形(例:たべる)⇔他の活用形、という変換が中心ですが、～たい→～ちゃだめ のような変換も含まれています。また問題後半には、～う→～ている→～ちゃった のように3枚1組の絵の活用練習も含まれています。

＊表現方法については、口頭での表出練習が基本です。「問題:A-1」の **たべる→たべない** であれば、ページ左側のイラストを示しながら、動詞の終了形を示し、(例:「これは、「食べる」」)、続いて、右側のイラストとともに、**□ない** という活用語尾の表示を示し、その活用語尾への変換を促します。(例:「じゃあ、こっちは?…“食べない”だね」)

＊変換の手助けとして、それぞれの活用表現のムードを感じさせると効果的です。(例:否定～ナイであれば、首を振る、勧誘～ウであれば、拳を突き上げる、禁止～ちゃダメであれば、手で×を組む、など) ※終了形については語尾のない□で示されています

Ⅱ いろんなことばにかえてみよう ☆13個の動詞を5つの活用語尾に、変換接続する問題です。

右側に示されている動詞を、左側に活用語尾で示されている形に変換します。(例:たべる→たべない、たべたい、たべた…)

Ⅲ へんかん れんしゅう ☆動詞・形容詞に対する24種類の活用＋音便別練習で構成されています。

各問題のテーマとなっている活用形に、10個の動詞・形容詞を変換します。また下段の空欄には、自分で、問題以外の動詞・形容詞を設定して、その終了形と活用形を書きこみます。

【対象】この教材を開始するにあたって、お子さんに以下の能力が必要です。

- ①語彙能力に関して:活用変換の対象となる動詞が、少なくとも理解されていることが望まれますが、語彙習得としての目的もあります。
- ②文字能力に関して:活用表現を文字で読んだり、書き記したりする場合は、特殊表記も含めた単語レベルの・読字・書字能力が必要です。口頭での学習は、文字未習得でも可能です。

【この教材の目的】①多種類の活用の口慣らし・聞き慣らしを通して、日本語の音韻・語形態に対する感性を養います。
②動詞・形容詞・助動詞の語彙拡大を促します。③会話における言語運用の向上を図ります。

☆ことばのてーぶる100枚プリントについて

ことばのテーブルでの指導の中で、企画・制作された教材集です。ことばのテーブルでは、この教材集を指導室での学習や家庭で行うホームワーク教材として使用しています。

※教材集の無断複製・販売はご遠慮ください。

葛西ことばのテーブルは、発達障害や言語障害の方のための学習室です。

≪企画・製作 言語・学習指導室 葛西ことばのテーブル≫

●企画・制作 三好純太 ○協力スタッフ 山口光/島本佐保

http://homepage2.nifty.com/kotobanotable/ ○印刷 (株)コア

〒134-0088 東京都江戸川区西葛西5-1-3 第6山秀ビル301

TEL/FAX (03)3687-3158 E-mail: QYT07571@nifty.ne.jp

□この教材集に対するご意見・ご感想・ご要望をお聞かせください。